原稿の題名は14ポイント・ゴシックです

—副題がある場合も同じサイズです—　[スタイルJLS\_タイトル)]

Title of document will be printed with eleven points Arial

- the same font size will be used for subtitle – [Style JLS\_Title]

著者1 [[1]](#footnote-1) Author 1 / 所属　in English (11ポイントゴシック) [スタイルJLS\_著者]

著者2 Author 2 / 所属　in English (11ポイントゴシック) [スタイルJLS\_著者]

(随意)和文要旨 [スタイルJLS\_和文要旨タイトル]

技術報告，論説の原稿では，日本文，英文要旨の記載は任意です。報告，ニュース等に投稿される原稿には要旨は不要です。８ポイントの明朝系フォントで印刷されます。[スタイルJLS\_要旨]

(随意) Abstract [Style JLS\_Abstract Title]

In manuscripts submitted to categories of “Technical report,” and “General remark,” “Abstract” written in English.is optional. “Abstract” is not required for manuscripts submitted to categories of “Discussions,t” “News” “Lecture,” “Book review” etc.. “Abstract” is printed in Times New Roman 8 points. [Style JLS\_abstract]

キーワード：技術報告では2～5個のキーワードが必要です。キーワードはゴシック体8ポイント [スタイルJLS\_キーワード]

(随意) Keywords: Keywords (2–5) are required for “Technical report.” They are printed in Arial 8 points [Style JLS\_Keyword]

(ここまで1段組み。以降のセクションを必要に応じて2段組みに。)

1. はじめに（章・節・項のタイトルは9ポイントゴシック） [スタイルJLS\_セクション]

（本文は9ポイント明朝体）この資料は，著者が最終投稿原稿を作成する際に使用するものです（ただし，著者が希望する場合は，査読を受けるための文書を作成する際の使用を妨げるものではありません）。最終投稿原稿は，図表の配置など，希望するレイアウトに組んだ上でお送り下さい（文章と図表を別々にする方法も可とします）。執筆にあたっては執筆要領4（本資料4章に抜粋して引用あり）参照のこと。ただし，出版時のレイアウトを保証するものではありません。[スタイルJLS\_本文]

2. 注意

2.1　印刷書式（節の前は空白行を入れない）[スタイルJLS\_サブセクション]

著者が原稿作成に用いるアプリケーションと印刷機の書式指定方法には差異があります。最終的な仕上がりは投稿時に著者が作成した形式とは完全には一致しません。

2.2　図表の解像度（節の前は空白行を入れない）

2.3　フォントなど

表—１にページ書式，フォントなどを示します。第3章は項の書式を示すためのダミーです。

3. ○○○○

3.1　○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

3.1.1　○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

3.1.2　○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

3.1.3　○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

3.2　○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

3.3　○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

図表を別添する場合は，希望レイアウト，カラーor白黒を明記頂くとベターです。

図-1　（白黒）

図—1 ページ書式設定値（図表のタイトルは9ポイントゴシック(Arial)）[JLS\_図表名]

図表の説明は9ポイント明朝(Times New Roman) [JLS\_図表説明]

4. 図・表・写真

この章に記載されているのは，執筆要領第4章を抜粋したものです。

4.1　番号

図・表・写真には，図-1，表-1，写真-1，Fig.1，Table 1，Photo 1 のようにそれぞれ通し番号をつけてください。

4.2　位置

図・表・写真は刷り上がり原稿をイメージし，本文中に記載すること。本文中に表示することが困難である場合は，本文中に図の位置を明記し，図・表・写真は文末に別添としてください。

4.3　図・表・写真の大きさと書き方

図・表・写真は原則として片段(巾80mm)または両段(巾170mm)で割り付けられます。図・表・写真は刷り上がりイメージを念頭に作成すること。文字・罫線ははっきりと判読できるよう大きさ・太さを十分に考慮すること。

図—2 ページ書式設定値（図表のタイトルは9ポイントゴシック(Arial)）[JLS\_図表名]

図-2　（白黒）

表—1 ページ書式設定値（図表のタイトルは9ポイントゴシック(Arial)）[JLS\_図表名]

図表の説明は9ポイント明朝(Times New Roman) [JLS\_図表説明]

4.4　表題・説明文

「論文」，「研究ノ－ト」，「巻頭論文」および「総説」における図・表・写真の表題・説明文は本文が和文の場合，和文・英文併記とし，本文が英文の場合は英文とする。また，表題と説明文の区分を明確にしておくこと。

|  |  |
| --- | --- |
| 上余白 | 約24.5mm |
| 下余白 | 約24.5mm |
| 右余白 | 約18.6mm |
| 左余白 | 約18.6mm |
| １行の文字数 | 25文字 |
| １ページの行数 | 50行 |
| 本文フォント | ９ポイント，明朝系\*  |
| 章フォント | ９ポイント，ゴシック系\*\* |

＊例：MS明朝，ヒラギノ明朝，Times New Roman

＊＊例：MSゴシック，ヒラギノ角ゴシック，Arial

4.5　カラ－印刷など

図・表・写真等は原則としてモノクロ印刷とする。カラ－印刷や折り込みなど特殊図版を希望する場合は投稿票および投稿原稿中に明示すること。最終投稿原稿中に記載の無い場合はモノクロ印刷となる。カラー印刷は原則として著者の実費負担とする。

4.6　出典の明記

図・表・写真などを他の著作物から引用する場合には，出典を必ず明記し，かつ必要に応じて原著者の了解を得ること。

引用文献 [スタイルJLS\_セクション]

下記①，②の形式のいずれかを使用すること。なお，日本地すべり学会誌（地すべり）の会誌名は，Vol. 39以前は「地すべり」，Vol. 40以降は「日本地すべり学会誌」である（引用文献は８ポイント明朝体）。

①本文の右肩上に番号と片カッコを付け，この番号順に文末にまとめて記載する場合。

――例――

1) 地すべり太郎・地すべり華子・地すべり次郎・地すべり良子(2003)：地すべりの地形的特徴と地質の関係に関する研究，地すべり，Vol. 39，No.5，pp. 1—9．

2) 学会誌太郎，学会誌華子(2003)：繰り返し一面せん断試験による静電気の発生量とせん断応力の関係について，日本地すべり学会誌，Vol. 40，No.1，pp. 104—110．

3) 投稿太郎(1999)：投稿された論文数とその質についての一考察，○○学会論文集，Vol. ○，No.○，pp. 25—30．.

4)（社）日本地すべり学会(2005)：地すべり(Landslides)－地形地質的認識と用語－, 日本地すべり学会, ○p.

5) Terzaght, K., Casagrande, A. and Janbu, N. (2000)：History of Soil Mechanics and Slope Stability, Jour. of Japan Landslide Soc.,Vol.37 ,No.7, pp.1 - 80.

6) Varnes, D. J. (1958)： Landslide Types and Processes, In. Landslides and Engineering Practice (Eckel, E. B., ed.), HRB, Special Rept. 29, pp. 20 - 47. [スタイルJLS\_引用文献]

② 本文中に著者名と発表年数などを示す場合。

この場合，引用文献は著者名のアルフアベット順に記載し，本文中には，該当著者名に（年号）あるいは，事項に（著者名，年号）をつけて引用すること。なお，同一著者名で同一年号の場合には，年号の後に発表順にa.b.cをつける。この場合も①同様に，著者名（年号）：論文名，雑誌名，巻号，引用ペ－ジの順に書くこと。

1. 連絡著者／corresponding author

　所属

In English

　住所

　In English [↑](#footnote-ref-1)